設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※　以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。　①:あてはまる　②:ややあてはまる　③:あまりあてはまらない　④:あてはまらない

設問 4　シラバスに沿って授業を行えた。

①:13（87%）　②:1（7%）　③:0（0%）　④:1（7%）　未回答:0（0%）

設問 5　学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:8（53%）　②:5（33%）　③:2（13%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 6　話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:6（40%）　②:8（53%）　③:1（7%）　④:0　（0%）　未回答:0（0%）

設問 7　重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:5（33%）　②:10（67%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答: 0（0%）

設問 8　学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:3（20%）　②:12（80%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 9　受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:7（47%）　②:7（47%）　③:1（7%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 10　受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した　等）

①:8（53%）　②:6（40%）　③:1（7%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 11　授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:8（53%）　②:5（33%）　③:2（13%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 12　総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:6（40%）　②:9（60%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 13　シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:7（47%）　②:7（47%）　③:1（7%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

B（問 14～18）：FD活動についてお尋ねします。

設問 14　この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。**（複数回答可）**

①他教員の授業参観：　2（13%）

②学内外の FD 講演会等への参加：　8（53%）

③他大学の FD 活動の視察：　0（0%）

④その他：　1（7%）・・・「この授業に関して FD 活動をおこなっていない」

未回答：　4（27%）

設問 15　今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。**（複数回答可）**

①他教員の授業参観：　4（27%）

②学内外の FD 講演会等への参加：　10（67%）

③他大学の FD 活動の視察：　1（7%）

④その他：　0（0%）

未回答：　3（20%）

設問 16　前年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、　　回答：9 クラス（順不同）

[1] 昨年度のアンケートでは、「授業で自宅学習を促したか？」という類の項目で得点が低かったので、本年度においては、毎回の授業でできるだけ宿題を課すように心がけた。本年度のアンケートに目を通すと、一部の学生から「授業の課題が多すぎる」との批判があったが、この授業では定期試験を行わないので、その分普段の授業中に多くの課題を課すことを意識していた。

・・・3 クラス

[2] 昨年度の情報科学入門が情報・数量スキルとなった。内容の変更もあったため、昨年度と比較することは困難であるが、学生のパソコンスキルに合せて、使用する教科書を変更した点が大きく改善した点といえる。

[3] ・課題で用いるデータの更新

・情報倫理に関する授業内容の更新

[4] 旧「情報科学入門 T(7)」での課題進行から，講義中で行う演習の量や宿題として家庭学習とする分量を調整し，講義時間の延長をなくしつつ，シラバス通りの進行を保つことができた.

[5] ビデオ作成演習は、昨年度より手順を明確にした。

[6] 地域情報のデータ（宮崎県漁獲高）を用いて興味を持てるようにした.

[7] ・分子レポートの進捗状況を TA と連携のもとで留意する。

・web レポートの提出期限を繰り返し注意する。

TA の協力により、未提出・不合格の事態は発生しなかった。

設問 17　自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答：　7 クラス（順不同）

[1] 教育文化学部においては、情報数量・スキルを担当できる教員の不足に頭を悩ませることが多い。本年度は様々な事情が積み重なって、私が 100 人 1 クラスの授業を担当することとなり、成績処理に苦労を強いられる事態となった。

大人数のクラスを担当する際に生じた課題は、無線 LAN がうまく機能しなくなることである。それゆえ、授業初回の各種初期設定で本学が提供している「ESET アンチウイルス」や「包括ライセンス」のダウンロードがうまくできすに四苦八苦させられた。また、大人数クラス故、授業初回の PC 初期設定で無線 LAN を使用するときに、APE の処理が追いつかなくなるという事態が発生した。この事態を改善するために、クラスを 2 つの部分に分けて半分ずつダウンロードさせるなどの工夫が必要になるものと考えられる。

9 月末に「Windows9」が発売されるとの噂がある。本学の情報環境について、点検のために関係各位が負担を強いられることを危惧している。このように、状況に振り回され易いことが、PC 必携化の短所であろう。L107 教室の Wi-Fi の接続状況が悪い。

・・・3 クラス

[2] ネットワークが繋がらないときが有り，なんとかしてほしい.

[3] 受講生の習熟度に個人差が大きく，受講生全員が満足できる講義の実施は難しかった。来年度に向けて改善策を検討する。

[4] パソコンを利用した技能に個人差が大きく、習熟度の高い学生にとっては退屈な講義であったかもしれない。どこに照準を合わせた講義を行うかが問題だが、来年度も担当するのであれば、習熟度の低い学生には予習用の資料を充実させ、もう少しレベルの高い講義内容を組んでも良いかもしれないと考えている。

[5] 工学系レポートで必要となる図表番号の相互参照や数値データの統計処理に積極的に取り組んでいる．特に数値データの加工と可視化については，本科目で新たに追加された「地域の視点」を重視し，県や市のデータを教材にしている.

設問 18　FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル：　なし

C（問 19～21）：中期目標・中期計画の関連で「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19　授業の中で「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい：　11（73%）　　②いいえ：4（27%）　　未回答：0（0%）

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20　下記のどの点を重視しましたか？（**複数回答可**）

①聞いて理解する：　3（20%）

②読んで理解する：　2（13%）

③自分の考えをまとめて話す：　4（27%）

④自分の考えを文章にまとめる：　8（53%）

⑤討論する：　0（0%）

⑥皆の前でプレゼンテーションする：　0（0%）

⑤その他：　1（7%）　・・・「教員が発問し、学生に回答（発表）させている」

未回答：　4（27%）

設問 21　「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答：　8 クラス（順不同）

[1] 宮崎県（や他都道府県）の人口や保育所数、農業就業者人口に関するデータをグラフ化させて、その結果から宮崎県がいかなる状況にあるのか考察させ、文章化させるようにした。・・・2 クラス

[2] 積極的に問いかけるようにしてきた.

[3] 個人、グループワークの両方でレポート作成を課した。

グループワークにおいては、グループ内だけでなく教員とのディスカッションを含めた。

[4] ・レポート内に考察を入れる。

・プレゼンテーション資料作成

[5] 宮崎県に関するデータを取り扱って、他都道府県との比較について文章にまとめさせた。

[6] テーマを決めて、患者説明用のビデオを作成させた。受容者を意識して、自分の考えをまとめることができるように仕向けた。

[7] ・地域の情報を収集し、理解し、自分の考えを記述する取り組み

・自分について紹介するスライドを作成し、皆の前で発表する取り組み。

D（問 22～25）：中期目標・中期計画の関連で「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22　授業の中で「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい：　14（93%）　②いいえ：　1（7%）　未回答：　0（0%）

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23　授業中で取り上げるおよその回数を選んでください。

①１～５回：　13（87%）　②６～10 回：　1（7%）　③11～15 回：　0（0%）　未回答：　1（7%）

設問 24　「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（**複数回答可**）

①歴史・文化：　1（7%）　②政治・経済・産業：　11（73%）　③自然環境・フィールド体験：　7（47%）

④その他：　0　（0%）・・・「宮崎の地域医療、など宮崎地域における大学の事業、研究等」　未回答:　1（7%）

設問 25　「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答：　9 クラス（順不同）

[1] Excel の基本操作を身につけさせる過程で、宮崎県庁の HP に入って、統計情報から宮崎県（と他都道府県）の「保育所数と出産数」、「男女別人口」、「農業就業者数」に関するデータをダウンロードさせて、「待機児童の問題」や「農業就業者の高齢化問題」に関する事柄について調査させた。・・・3 クラス

[2] 宮崎県のデータベースを中心に、宮崎に関するデータを収集し、まとめ、自分の意見を記述する取り組み。

[3] 宮崎県の環境に関するデータを用いた情報整理を課題とした

[4] COC 事業に対応するために、地域調査と web レポート作成の内容を織り込んだ。

[5] 産業、経済、自然環境等の地域のデータ

[6] 全国漁獲高1位のカツオのデータを使った.

[7] 特色ある活動ではないですが、宮崎で発生した「口蹄疫」に関するデータを使用しての数量解析を行い、生のデータに触れることで「口蹄疫」という問題そのものをより深く理解するよう促しました。